

巻 頭 言

北海道教育大学附属函館中学校長 羽 根 田 秀 実

皆様には、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育、研究活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本校においては、平成20年度より22年度までの3年間「新学習指導要領の趣旨を実現する教育の展開」という研究主題の下、新学習指導要領に示された改善事項を先行的に実施し、実践的な検討を重ねてまいりました。その成果と課題をふまえて、平成23年度からは、学習評価に関する研究・実践に取り組んでおります。また、この取り組みは、平成23・24年度の2か年、国立教育政策研究所の学習評価に関する研究指定を受けました。

今年度は、このような2か年にわたる取り組みの最終年度に当たり、「言語活動を通じた思考力・判断力・表現力の評価についての組織的な取組」という研究主題を掲げ、研究・実践を積み重ねてまいりました。公開授業や分科会においては、これまでの取り組みの成果を皆様にご報告し、共有することができればと考えております。同時にまた、この機会に、多くの方々から、私たちの取り組みに対する忌憚のないご意見やご批評をいただくことができれば幸いに存じます。皆様からいただいたご意見・ご批評をもとに、さらに私たちの研究・実践を、深化・発展させていくことができるよう努めてまいりたいと考えております。

毎年素晴らしい講師の先生をお迎えして開催している全体講演会ですが、今年度は『15歳の寺子屋 15歳の日本語上達法』（講談社）、『知っていそうで知らない日本語の謎』（日本文芸社）等の著書で有名な杏林大学の金田一秀穂先生をお招きし、「コミュニケーションと言葉」という演題で、お話していただくことになりました。

最後になりましたが、教科別分科会で助言者・司会者・共同研究者として、ご指導・ご助言そして司会の労をお取りいただく諸先生に対し、心より感謝と御礼を申し上げます。また、本研究大会の開催にあたりご後援を賜りました北海道教育委員会並びに函館市教育委員会に対し深く感謝申し上げます。今後とも、本校の教育研究活動にご理解とご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

平成24年11月